

# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第36639号

2011年(平成23年)

1月8日 土曜日

[旧12月5日・仏滅]

発行所 琉球新報社  
〒900-8525 那覇市天久905番地  
電話 098 (865) 5111  
©琉球新報社2011年

(日刊)

## 虹色の光彩放つ 「耀変」茶碗制作

石垣焼の金子晴彦さん



金子晴彦さん

金子さんによると、前例のない現象だという。金子さんは福岡県出身。1999年に石垣島に工房を構え、父蒸雨さんの「よらん焼」をベースに、油滴天目の器にガラスを融合させ、沖縄の海を表現。2009年は木の葉と陶器とガラスの融合にも成功した。今月、パリで開催される世界最高峰のインテリアデザイン・関連見本市「メゾン・エ・オブジェ」にも出展が決まっている。

金子さんは昨年7月、硝皮天目を試作していたところ、器の側面に輝く光彩(耀変)を発見。「耀変は人が踏み込めない領域」と話し、現在、石垣焼窯元の代表、金子晴彦さん(49)が虹色の光彩を放つ「耀変」の現れは、石垣市名蔵の茶碗制作した。太陽の光を当てると、トラの毛のような数百年の茶色目の一本一本が光る。



動画

(深沢友紀)